

RS-232Cマルチプレクサ「KS-MULTIPLEXER」 KS-MP5

ホスト側のコンピュータからソフトウェアで回線切換えができる、多チャンネルRS-232Cセレクト！

KS-MP5

5チャンネル切換えユニット(PC-9801用サンプルソフト付属)

本体価格: 68,000円(税別)



オプション
ケーブル

	(税別価格)
CBL15(PC-9801 25ピン接続用RS-232Cストレートケーブル、1m).....	6,500 円
CBL15N(PC-9801ノートハーフ 14ピン接続用RS-232Cストレートケーブル、1m).....	13,000 円
CBL16(IBM9ピン接続用RS-232Cストレートケーブル、1m).....	8,500 円
CBL17(IBM25ピン接続用RS-232Cストレートケーブル、1m).....	8,500 円
CBL21(25ピン⇒25ピン接続用RS-232Cクロスケーブル、1m).....	6,500 円
※接続ケーブルは機器に合わせて、指定の長さで作成いたします。.....	特注対応

【KS-マルチプレクサの特長】

KS-マルチプレクサは、パソコン等のホストコンピュータからソフトウェアによって回線の切換えができる、多チャンネルRS-232Cセレクトです。

最大125台のRS-232C端末機器と接続が可能。

- KS-MP5の場合、1台のユニットに対して5台までRS-232C機器をつなげることができます。さらに、その後へKS-MP5 ユニートを3段までツリー状態接続可能、最大125台の端末との回線を切換えることができます。
- チャンネルごとにアドレス番号が指定されているので、端末がコンピュータでなくとも、RS-232C インターフェースを持つ機器であれば、マルチドロップでの通信が可能です。
- 1:1 の通信中は他の端末すべてが待機の状態になりますので、信号衝突は起こりません。
- バイナリー通信が可能です。

- RTS-CTSでフローの有/無を設定することができます。
- KS-LAN と接続することにより最大伝送距離1.2kmまでの長距離ネットワークも可能になります。

端末側機器からの入力でチャンネルを切換え。(子持ちモード)

- 通信はホスト側より回線の切換えを行います。ホスト側を受信待ちの状態にして、最初にデータ送信された端末機器と回線を開く機能を持っています。(先着優先)
- 多数の端末機器からデータが同時入力された場合は、チャンネル番号の小さい方が優先され回線を開きます。(チャンネル優先)ただし、通信データを保持するバッファはありません。

接続した全回線を開くRS-232C分配器として使用。

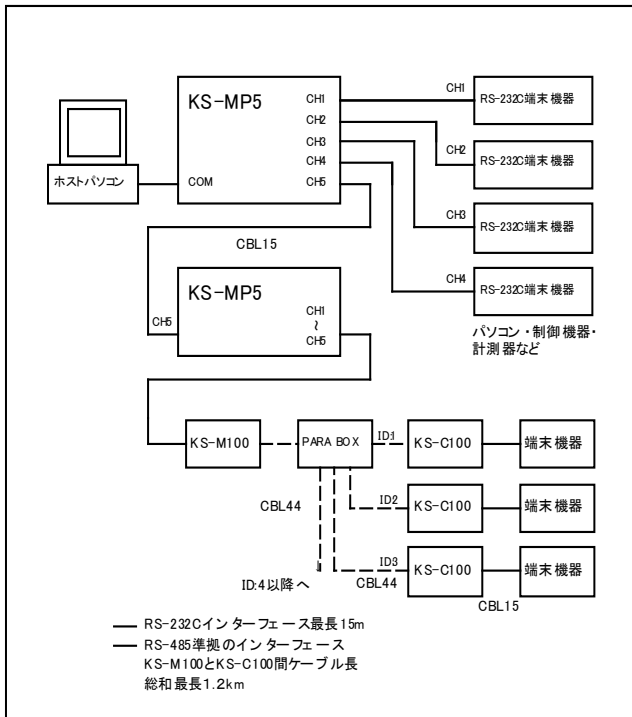
- ホストから接続した端末機器全てに対して、同時送信専用の分配器としても使えます。

【仕様】

型 名	KS-MP5(5チャンネル切換)	
RS-232C インターフェース	最大伝送速度	19.2kbps
	最大伝送距離	15m(ブースタ機能付き、各コネクタより15m配線可能)
	出 力	3kΩ負荷にて±5V以上
	入 力	入力抵抗3kΩ以上、レシーバ感度±3V以上
	通 信 形 態	1:1(ポイントツウポイント)
接 続 形 態	1:5 ツリー状接続3段にて最大1:125(KS-MP5×31台)	
電 源	AC100V(50/60Hz)、5W以下	
外形寸法	219(W)×141(D)×50(H)mm(突起部含まず)	
重 量	約1kg	

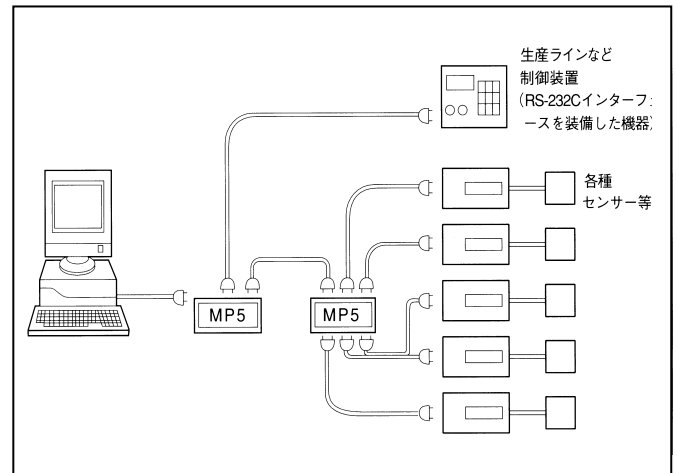
■ 接続例

KS-LANユニットと組み合わせて長距離通信も可能になります。



■ 応用例

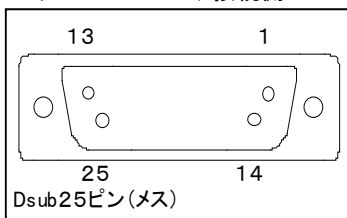
1台のコンピュータで複数台の機器をコントロール。工場などの生産、検査ラインで機械制御や計測データ収集の自動化・省力化にお役にください。RS-232Cを持ち、RTS/CTSのハンドシェイクができる計測器や制御機器をマルチ接続します。ホストとなるパソコンからチャンネル番号を数字データ(8ビット)で送信して端末機器を切換え、データ送信やデータ収集を行います。チャンネル番号のデータはユニット内で切り捨てられるので 端末機器には送信されません。



【KS-MP5/KS-MP2のピンアサイン】

●RS-232C(COM)

ホストコンピュータ接続側



※ネジ M2.6

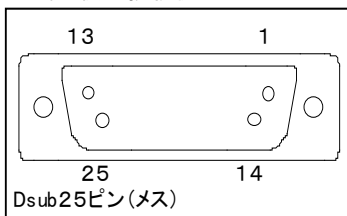
ピンNo.	名 称	信号の方向	信号の役割および処理
1	FG フレームグラウンド		フレームに接続
2	TxD 送信データ	入 力	RS-232CのTxDからデータを受信
3	RxD 受信データ	出 力	端末側からのデータをRS-232CのRxDへ送信
4	RTS 送信要求	入 力	RS-232CのRTSから制御信号を受信
5	CTS 送信可	出 力	端末側からの制御信号をRS-232CのCTSへ送信
6	DSR データセットレディ	出 力	RTSに入力された信号を折り返す、またはハイレベルに固定
7	SG シグナルグラウンド		GNDに接続
20	DTR データ端末レディ	入 力	チャンネル番号を指示するためのアドレスモードの制御を行う

※ コネクタはDsub25ピン(メス)になります。

※ パソコンと接続するRS-232Cケーブルはストレートタイプをご使用ください。

●RS-232C(CH1~CH5)

端末機器接続側



※ネジ M2.6

ピンNo.	名 称	信号の方向	信号の役割および処理
1	FG フレームグラウンド		フレームに接続
2	TxD 送信データ	出 力	RS-232CのTxDからデータを受信
3	RxD 受信データ	入 力	端末側からのデータ受信
4	RTS 送信要求	出 力	RS-232CのRTSから制御信号を送信
5	CTS 送信可	入 力	端末側からの制御信号を受信
7	SG シグナルグラウンド		GNDに接続
20	DTR データ端末レディ	出 力	チャンネル番号を指示するためのアドレスモードの制御を行う

※ コネクタはDsub25ピン(メス)になります。

※ パソコンと接続するRS-232Cケーブルはクロスタイプをご使用ください。

※ KSマルチプレキサ間を接続する場合は、全体としてストレート配線になるように構築してください。